

平成 27 年度 事業計画書

(平成 27 年 4 月 1 日より平成 28 年 3 月 31 日まで)

一昨年からの経済的環境の改善により、当財団も助成事業をはじめとして出版、講演会主催等の事業を順調に進めてきている。今後の経済状況により不確定な部分もあるが、平成 27 年度は前年度の仕組債の買い替えにより、基本財産の半数近くの利率が固定化されているため、為替による変動の可能性は比較的小さくなるものと考えられる。

このような状況の中で、当財団としては、近年ますます一般化してきているグローバル化に対応するために、昨年初めて海外で開催したホソカワ粉体工学欧州シンポジウムに続き、国際的な活動を継続し、さらに発展させていくことに前向きに取り組んでいきたい。

研究助成については、国内の研究者を対象とするものの、この助成により国際的な研究活動を支援しているが、KONA 賞については、日本人に限定せずに国際的な観点で授与ができるような体制の準備を検討している。学術専門誌 KONA Powder and Particle Journal の出版については既に国際的な編集体制で取り組んでおり、昨年にはオンライン学術誌データベース J-STAGE へのこれまでの全論文の掲載を実現し、アクセスの利便性が格段に高まった。平成 27 年度は本誌のオープンアクセス化の準備を進め、さらに公益性を高めていく予定である。

これらの従来からの一般事業に加えて、平成 28 年度に当財団が設立 25 周年を迎えるために、平成 27 年度より特定資金の積み立てを開始し、25 周年特別記念行事として、粉体工学の分野での国際的な交流を図るための特別講演会の開催を計画する。

I. 助成関連事業

本年度は昨年度と同様に、以下の 4 つの助成事業を継続して実施する。

予算額 2,658 万円 (事業管理費を含む)

1. 粉体工学に関する研究のための研究費助成 (研究助成)
2. 粉体工学に関する優れた研究業績に対する褒賞 (KONA 賞)
3. 粉体工学に関する研究成果公開の援助 (シンポジウム等の開催援助)
4. 粉体工学に関する研究に従事する研究者の育成の援助 (研究者育成援助)

II. 特定事業

平成 28 年度に、当財団の設立 25 周年記念特別事業として、粉体工学の分野における国際的な交流を図ると共に、当財団の活動についての世界的な認知度を高めるために、海外からも講師を招聘して特別講演会を開催するための準備資金を計上し、その準備を進める。

予算額 250 万円 (設立 25 周年記念特別事業費として積立てを行う)

1. 第 2 回ホソカワ国際粉体工学シンポジウム (2. Hosokawa International Powder Technology Symposium) の開催 (平成 28 年度に開催)

世界的なレベルで粉体工学の発展に寄与することを目指して、平成 26 年度は、日本と同様に粉体工学の活動が活発であるドイツにおいて欧州シンポジウムを開催したが、平成 28 年度に、粉体工学に関する国際的な特別講演会を開催し、この分野におけるグローバルな研究者、技術者間の交流を図る。本シンポジウムでは、講師を世界の産学界より招聘して、

基礎的ならびに実用的な面からの講演、討議を予定している。

さらに、経済的な状況が許す範囲で毎年同額程度の積立てを行い、2年に1回程度、海外での開催を含めて国際的なシンポジウムを継続的に実施できるように準備を進めていく。

Ⅲ. 財団自主事業

1. 粉体工学に関する講演討論会の開催

① 予算額 551万円

② 趣旨・内容

粉体工学の当面の重要課題を選び、第一線の研究者（5～6名）から最近の研究成果について講演して頂き、その課題に関心をもつ研究者・技術者の参加を募集する。講演と討論を通じて粉体工学の発展に資することを目的とする。毎年1回、会場は大阪・東京において隔年開催を原則とする。（平成27年度は大阪において開催の予定）

③ 経費および用務の分担

本講演討論会の企画については、粉体技術談話会に委嘱し、そこでテーマの設定、講演者・討論の司会者の選定等を行う。参加費はすべて無料とし、講師謝礼、旅費、宿泊費およびテキスト印刷費などの予算を計上する。

2. KONA誌の発行

① 予算額 815万円

② 趣旨・内容

KONA誌は当財団が年1回発行する粉体工学に関する英文の学術誌であり、世界中の研究者から粉体の科学及び工学に関する研究論文およびレビューを集め、これらを編集して発行し、全世界の関連する研究者、研究機関、図書館などに広く無償で配布している。KONA誌はインターネットを通じて無料でダウンロードすることもできる。平成22年6月からJournal Citation ReportにKONAのインパクト・ファクターが収録されている。また、平成25年12月から科学技術振興機構(JST)が運営するオンライン学術論文データベースJ-STAGEへの掲載も行われている。なお、平成26年度に出版したNo.32(2015)の掲載論文数は22編、ページ数は283頁で、1,800部を印刷し、国内外に発送した。次号の出版については、アジアブロックの企画・編集・査読等を粉体技術談話会に委嘱すると共に、欧米の編集委員会の協力を得ながら進めていく予定である。

Ⅳ. 年報の発行

① 予算額 56万円

② 趣旨・内容

年報は当財団の活動状況と財団の助成を受けた研究の成果を公表するために発行される。年報は以下の内容を含む。

- (1) 理事長挨拶
- (2) 事業内容と実施状況の概要
- (3) 役員等名簿
- (4) 助成・顕彰事業
- (5) 研究成果等の報告

以上